

(仮称) 湖西市消防防災センター建設整備計画【概要版】

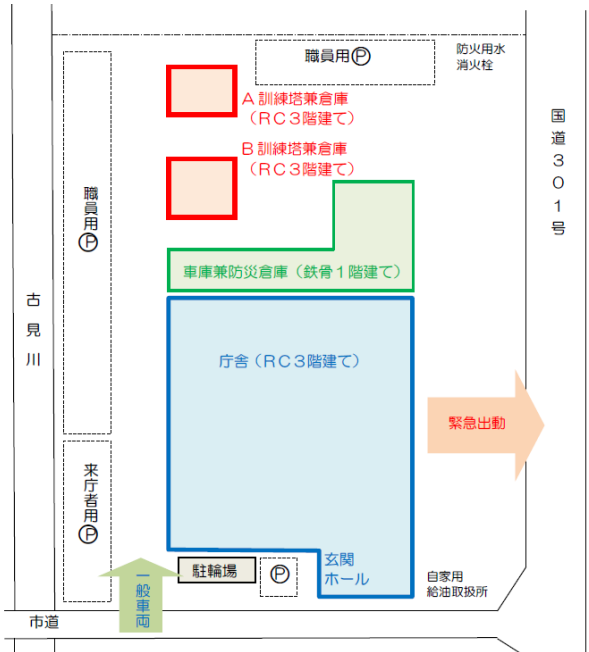
消防庁舎の整備計画

新消防庁舎建設の基本理念を実現するための計画概要	新消防庁舎建設において配慮すべき事項
<ul style="list-style-type: none"> • 災害への迅速・的確な対応ができる庁舎 • 教育・訓練施設により防災意識の向上を図れる庁舎 • 地域の未来に安心・安全をもたらす庁舎 	<p>(1)住民に配慮した庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユニバーサルデザイン • 来庁者の利便性の確保 • 親しみのある庁舎 <p>(2)環境に配慮した庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自然エネルギー、経済的に配慮した庁舎

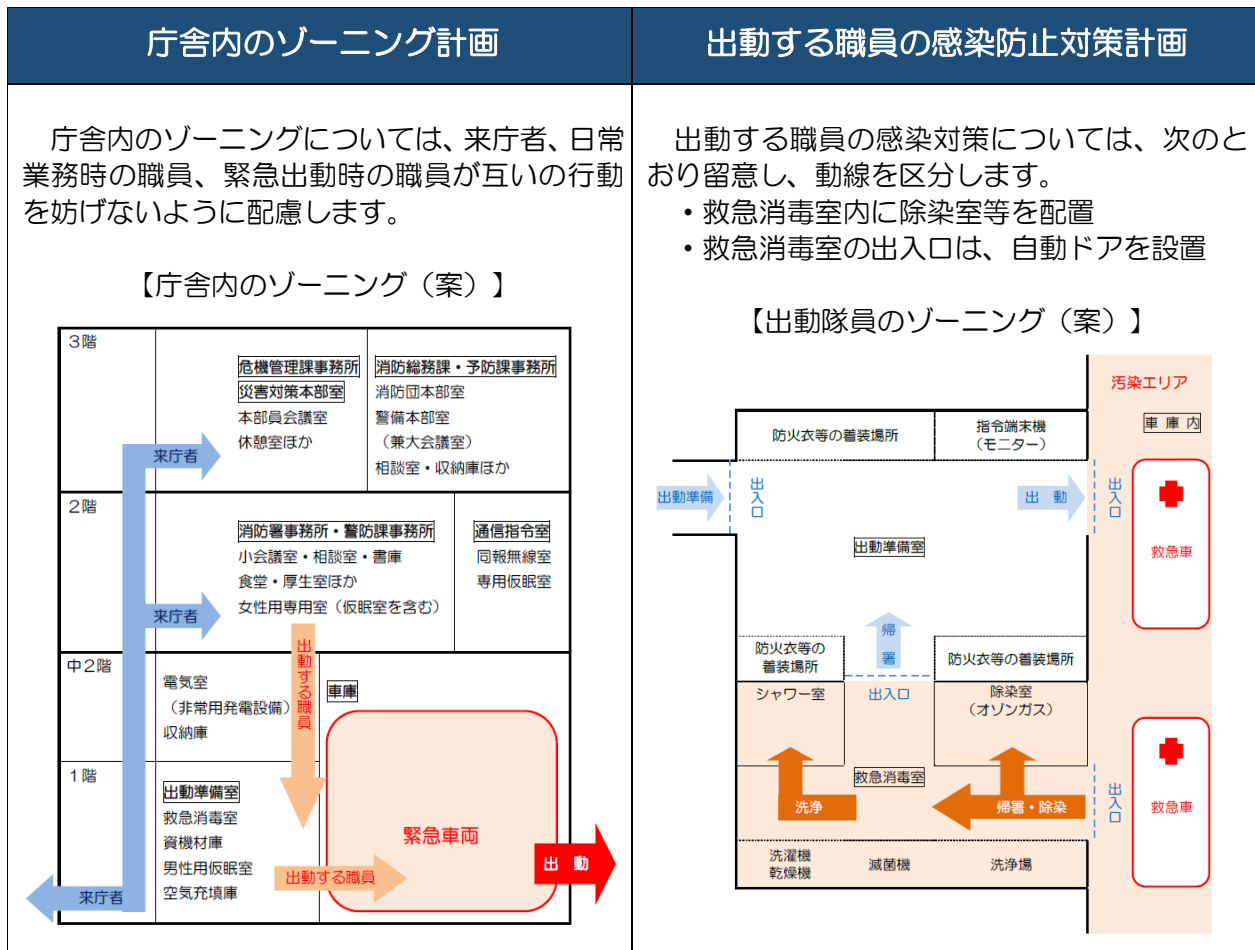
建設用地

区分	内容	
位置	湖西市古見1076番地ほか（現在の消防本部敷地内）	
敷地概要	敷地面積	5,587㎡（河川部分を除く）
	地権者数	6人（市有地を除く）
	用途地域	第2種住居地域
	その他	市街化区域

施設構成	敷地内の庁舎等配置計画
------	-------------

区分	階数	主な諸室等	
庁舎	1階	出動車両の車庫、出動準備室、救急消毒室、救急資機材庫、資機材庫、洗濯室、乾燥室、仮眠室、空気充填庫	<p>敷地内の配置については、次のとおり留意し、施設配置や接道など、周辺環境との整合を図ります。</p> <p>【留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緊急車両と来庁者車両の動線を分離 • すべての緊急車両は、国道301号から出動 • 来庁者用駐車場等は、庁舎玄関近くへ配置 • 緊急消防援助隊等を受援できる用地を確保 <p style="text-align: center;">【敷地内のイメージ図】</p> 
	中2階	車両見学通路、収納庫、電気室（非常用発電設備）	
	2階	消防署・警防課事務所、収納庫、相談室（WEB会議可）、小会議室、食堂、厚生室、男性更衣室、書庫、女性専用室（仮眠室、厚生室ほか）、救急訓練室、女性消防団室、通信指令室（同報無線室等含む）	
	3階	消防総務課・予防課・ 危機管理課事務所 、消防長室、消防団室、 災害対策本部室（防災センター） 、警備本部室（大会議室）、給湯室、消防団本部室、更衣室、収納庫、相談室（WEB会議可）、書庫	
	共有	玄関ホール、廊下、階段室、トイレ、エレベーター、非常用発電設備、国旗掲揚塔、 サーバー室	
附属建物設備等	車庫兼防災倉庫、A訓練塔兼倉庫、B訓練塔兼倉庫、防火水槽、消火栓、自家用給油取扱所、油庫、駐輪場、駐車場		

【備考】 諸事情により変更する場合があります。



危機管理機能の複合化計画

危機管理部局の現状と課題	危機管理機能の複合化の検討
<p>(1) 現状 危機管理課の職員が災害対応業務を行う場合は、隣接する防災センターに移動する必要があります。また、防災センターは、液状化危険が大きい地域に建設されており、建物の老朽化とともに活動スペースが狭隘となっています。</p> <p>(2) 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模地震等の発生時の災害拠点機能の維持 ・災害時における迅速な情報収集と初動対応 ・災害対策本部の迅速な立ち上げ ・長期化する災害対応時の職員の労務管理 ・消防本部・消防団との連携強化 	<p>(1) 複合化の必要性 災害による被害を軽減するためには、迅速な対応が必要であり、災害対策本部室と危機管理課事務所を、災害に強い消防庁舎と複合化する必要があります。</p> <p>(2) 防災センターに必要な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部の常設化 ・災害対策本部と危機管理課事務所の一体的な配置 ・防災備蓄倉庫と車庫の一体的な配置（別棟） ・災害の長期化に備え休憩室の設置 ・マスク対応が行える部屋の設置

消防本部と危機管理部局の連携

災害時における対応を効果的に実施するためには、防災拠点施設である防災センター（災害対策本部）と消防本部（警備本部）との緊密な連携が必要となります。防災センター機能等を併せ持つ、総合的な災害防災拠点施設となる合同庁舎を建設した場合、次のような効果が期待できます。

【効果】

- ・災害情報の共有化と相互の連携強化
- ・夜間・休日等の迅速な対応
- ・消防・防災行政の一本化
- ・消防団との連携
- ・防災関連システムの共有化による経費削減

サーバー室の移転計画

現サーバー室の現状と課題	サーバー室移転の検討
<p>(1) 現状 現在のサーバー室は市役所庁舎内にあり、ネットワーク機器等の集中管理を行っています。また、消防本部においてもサーバー室（通信指令室）を設置して、通信指令システムを運用しています。</p> <p>(2) 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然災害等による浸水被害のおそれ 建物（市役所庁舎）の老朽化 それぞれで維持管理等に関する経費が発生 	<p>(1) 移転の必要性 災害対策やセキュリティ対策のため、施設の移転は喫緊の課題であり、現サーバー室の機器等を共有することで、コストの削減も期待できます。</p> <p>(2) 新サーバー室に必要な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 監視カメラなどの入退室管理設備 室温等の影響を可能な限り排除できる設備 ネットワーク等の配線を考慮した構造・設備 外部通信回線の引込経路の整備
新サーバー室の運用	
<p>(1) 移転後のサーバー室の基本的な運用管理は、原則として一括でDX推進課が行います。</p> <p>(2) 通信指令システムの運用は消防本部が行い、空調設備等は市情報システム側と共有します。</p> <p>(3) サーバー室は、通信指令システムの新旧システムの並行稼働が可能なスペースを確保します。</p> <p>(4) 外注先企業の作業員など、すべての者がサーバー室への入退室管理の対象となります。</p>	

建物構造の検討

耐震・免震・制震構造の選択については、地震発生時においても消防活動拠点施設として機能が続く構造として、地質調査の結果を基に、イニシャルコスト、ランニングコスト等を建設設計時に総合的に検討し、適切な建物構造とします。

庁舎整備の事業計画

事業費		事業手法																			
<p>事業費については、建築設計（基本設計）等において庁舎の機能をさらに具体化して、詳細に規模の算定を行い、詳細な事業費を算出します。</p> <p>なお、今後、社会情勢の変化等による建設資材や人件費の変動を注視し、必要に応じて事業費の見直しを実施します。</p>		<p>（仮称）湖西市消防防災センター建設に関する事業手法は、公設直営方式を基本とし、設計施工分離発注方式とします。</p> <p>なお、新庁舎の建設中においても緊急車両の出勤体制を停止することができないため、新庁舎の建設後、移転し、旧庁舎の取壊しが終了後、附属施設等の整備を計画的に行います。</p>																			
事業スケジュール																					
項目／年月		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度									
		4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
庁舎	【基本設計】 消防庁舎・附属施設等	—————▶																			
	【実施設計】消防庁舎					—————▶															
	地質調査					—————▶															
	消防庁舎 建設工事					—————▶															
	外構工事					—————▶				(敷地北側) ———▶											
	旧庁舎等 解体設計					—————▶															
	附属施設等 実施設計					—————▶															
令 通 装 置 指	旧庁舎等 解体工事									—————▶											
	附属施設等 建設工事									—————▶											
	基本設計					—————▶															
	実施設計					—————▶															
	装置更新・旧装置撤去									—————▶											

【備考】社会情勢の変化により、変更する場合がある。